平成28年度広報推進協議会 第3回会合

- 1. 日 時 平成29年 3月 2日(木) 13時00分~14時30分
- 2. 場 所 国土交通省国土地理院 関東地方測量部 大会議室 (九段第2合同庁舎8階)
- 3. 議事
 - (1) 平成28年度活動報告
 - (2) 今後の取組内容(案)について

資料-1 平成28年度活動報告

資料-2 今後の取組内容(案)について

資料2-1 広報推進協議会ホームページの開設について

資料2-2 リーフレットの更新について

資料2-3 広報用動画 (ビデオ) の作成について

資料2-4 その他の取組

参考資料-1 「国土を測る」意義と役割を考える懇話会報告書(案)について

参考資料-2 平成28年度広報推進協議会第2回会合議事要旨

参考資料-3-1 広報推進協議会ホームページ開設に係る協力依頼について (案)

参考資料-3-2 広報用動画の調査について(案)

広報推進協議会構成員

宮﨑 清博 (一社)全国測量設計業協会連合会 事務局長

冨永 伸樹 "((一社)群馬県測量設計業協会 会長)

市川 俊幸 (一財)測量専門教育センター 事務局長

土田 俊行 " (中央工学校 教務部 土木測量系 学科長)

稲垣 秀夫 (一社)地図調製技術協会 業務執行理事

岩﨑 昇一 理事・事務局長

岩田 邦雄 (公社)日本測量協会 総務部長

飯村 友三郎 (公社)日本測量協会 測量技術センター

管理部長

斉藤 和也 (公財)日本測量調査技術協会 専務理事

津澤 正晴 "理事•事務局長

田代 博 (一財)日本地図センター 常務理事

松本 治夫 "総務部長

鹿野 正人 国土交通省国土地理院 参事官

技術分析官

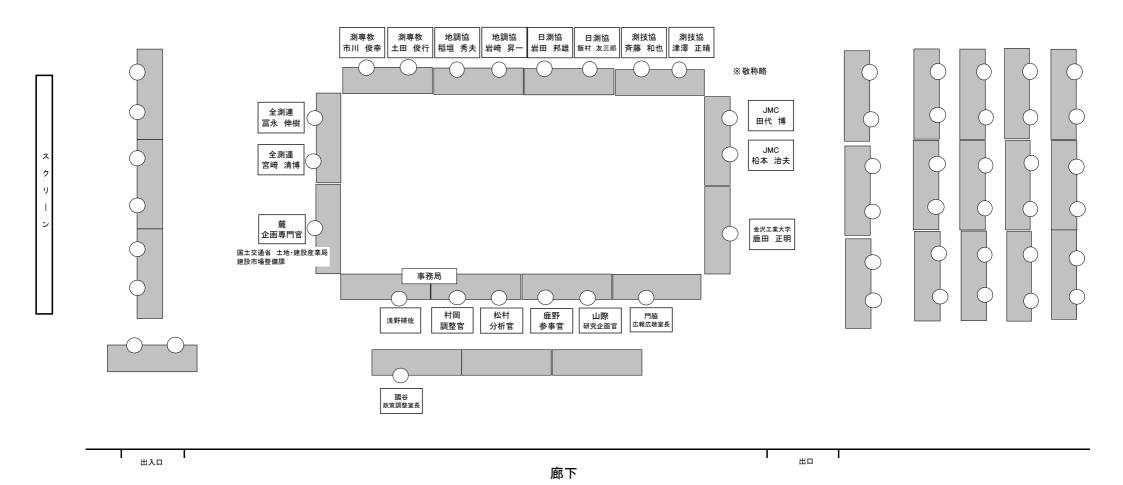
アドバイザー

鹿田 正昭 金沢工業大学 副学長

オブザーバー

麓 博史 国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課 専門 工事業・建設関連業振興室 企画専門官

※ 敬称略



平成28年度活動報告

基本的な活動方針

【目的】

- ・国民に測量の意義や役割を正しく理解してもらう。
- ・就学、就職予定者にとって測量が魅力ある仕事として認知され、測量分野への進路選択を促す。

【ターゲット】

- 国民全般
- ・近い将来就職を考える高校生、大学生

1. 平成28年度広報推進協議会開催状況報告

- ①第1回会合(平成28年7月15日、18名(構成員 12、アドバイザー 1、事務局 5)
 - ○平成27年度取組の成果報告

事務局から、「測量のイメージアップのためのリーフレット」に係る制作経費、 配布先等に関する報告を行った。

- ○構成団体の平成28年度広報活動の取組について 各構成員から平成28年度広報活動の取組について報告された。
- ○広報推進協議会の今後の取組について 今後の取組について議論を行った。
- ②第2回会合(平成28年11月2日、18名(構成員 12、オブ 1、事務局 5)
 - ○平成28年度活動方針について 平成27年度第3回会合において承認された「平成28年度活動方針」について再確認 を行った。
 - ○今後の具体的取組(案)について 平成28年度活動方針に基づき、「広報推進協議会ホームページ開設」「広報用動画 (ビデオ)の作成」「リーフレットの更新」について事務局から提案し承認された。
- ③第3回会合(平成29年3月2日) 本日
 - ○平成28年度活動報告
 - ○今後の取組内容(案)について

2. 平成28年度取組内容報告

①「測量のイメージアップのためのリーフレット」の作成・配布

作成部数 30,000枚

配布先 全測連 10,000枚 測技協 2,500枚 測専教 5,000枚 JMC 1,000枚 地調協 1,000枚 地理院 5,500枚

日測協 5,000枚

【効果】 ・学生からの評判が良く、構成団体からの追加配布の要望があった。

- ・専門学校の受験者数が増加した。
- ②リーフレットの更新内容の検討
- ③広報推進協議会ホームページの開設 (ページ案作成)

今後の取組内容(案)について

(1)	広報推進協議会ホームページの開設について	資料2-1
(2)	リーフレットの更新について	資料2-2
(3)	広報用動画(ビデオ)の作成について	資料2-3
(4)	その他の取組	
	今後考えられる測量・地図関連事項(2017~)	資料 2 - 4

広報推進協議会ホームページの開設について

- ◆測量・地図作成分野の仕事や魅力及び各構成員団体の広報活動等を国民に広く紹介するための情報発信ポータルサイトとして、広報推進協議会ホームページを 5月中旬までに開設する。(作成中のサイト案紹介)(別紙1のとおり)
 - ①ホームページ開設に向けて各構成団体からの情報提供について
 - ○平成29年度における各構成団体のインターンシップ、イベントに関する情報(別紙2のとおり)
 - ○各構成団体が実施した(平成29年4月~)イベント等の実施報告 (別紙3のとおり)
 - ・広報推進協議会HPで紹介する原稿(A4サイズ1ページ程度)
 - ・または、各構成団体のHPで公開している場合は、そのURL

(注)

- ・HPアクセス数を増やすためにイベント情報の掲載は必須である。
- ・リピーターを増やすために更新頻度を高める。(新たなイベント情報の追加 など)
- ・インターンシップ、イベント等については、新着情報に掲示し、詳細は開催主体(問い合わせ先として)を案内(リンク)する。
- ②ホームページ内のコンテンツ作成について
 - ○各分野別のしごとの詳細ページの原稿作成(別紙4のとおり)

活動報告

ホーム 当協議会について 測量・地図作成のしごと



イベント情報

インターンシップ情報

測量のパンフレット・動画

測量に必要な資格

関連サイト



NEWS & TOPICS

❷ 2017.03.10 広報推進協議会ホームページを公開しました。

❷ 2017.03.10 広報推進協議会ホームページを公開しました。

② 2017.03.10 広報推進協議会ホームページを公開しました。

☑ 一覧を見る

測量・地図作成のしごと

測量は、国土やその上に構築されている様々な社会インフラの位置、形状などを測定し記録 するという、我が国の社会経済活動のための基礎的な情報基盤を整備する重要な役割を担って います。

測量技術者のしごとは、国土の姿を正確に測るしごと、測った姿を地図に表すしごと、測った情報を都市計画や防災など、各分野に役立てるしごと、測量でわかった情報やメッセージをわかりやすく伝えるしごとに広がっています。

国土の姿を正確に測ります



みなさん「日本とハワイの距離が1年に数 c m縮まっている」ということをご存じですか?

測量では、自分のいる場所や建物の場所などが地球上のどこにあるか、緯度・経度・標高を正確に求めます。明治以来、三角点や水準点などの基準点を基にその位置を計測していましたが、近年では、カーナビでお馴染みの人工衛星からの信号を利用した宇宙測量技術が多く利用されるようになりました。また、地図作成においては、ドローンなどの活用も広がっています。

☑ 詳しく見る

測った姿を地図に表現します



みなさんは普段どのくらい地図を使われていますか?スマートフォンの地図アプリ、観光マップ、カーナビ・・・。 意識してみると想像以上に使っていると思います。

測量では、現地で測量した結果や測量用航空機で撮影した空中写真などを基に、国土の基本図や都市計画図、施設管理図など、様々な目的のための地図を作成します。また、これら既存の地図を基に道路マップや観光マップなどに編集され、一般に提供されています。測量の成果を分かりやすく地図として表現することも測量の重要な仕事です。

☑ 詳しく見る

あなたの仕事が様々な分野で役立ちます



私たちは、洪水、地震、火山噴火など多くの自然災害が発生する国に暮らしています。

測量・地図作成分野の最新の技術を生かして、航空機やUAV(無人航空機)による空中写真撮影や緊急測量などによって、被災状況の把握や応急活動に必要な情報を集め、速やかに提供します。提供した情報は、政府機関や地方公共団体が行う防災・減災対策や防災活動に役立てられています。

このように測量の仕事は、各種の計画や対策などの必要不可欠な役割を担っています。

☑ 詳しく見る

色々な情報を基に、分かりやすく伝えます



コンピュータの地図上に様々な地理情報を重ね合わせて活用するGIS (地理情報システム)が多方面で使われています。これまでの紙地図上では、表現しにくかったことも、コンピュータ上では様々な情報を必要に応じて重ね合わせることが可能であり、これを立体的に表現することも可能です。 土地の適正評価や自然災害へのリスク評価など、価値の高

土地の適正評価や自然災害へのリスク評価など、価値の高い分析とそれを分かりやすく説明するためのツールとして活用されています。

☑ 詳しく見る

測量技術者になるには



測量の仕事に従事するためには、測量に関する知識・技術 を習得し、国家資格(測量士、測量士補)を取得する必要が あります。

国土を測り、地図に描き、各種の計画などに生かす測量技 術者の仕事は重要な役割であり、魅力がいっぱいです。 みなさんを待っています!

※資格取得についての詳細はこちら

☑ 詳しく見る

当協議会について

測量・地図作成のしごと

国土の正確測定 地図への表現 多方面への貢献 様々な活用ツール 測量技術者になるには

測量の担い手育成 広報推進協議会

事務局: 国土交通省国土地理院 総務部・企画部 〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番 TEL:029-864-1111 (代)

平成29年度 インターンシップに関する学生等受入れ情報等について

所在 県名	生地 市町村名	機関・企業名	大学・高専等の区分	受入可能人数	受け入れ時期 (期間)	募集の〆切	問い合わせ先	ホームページへの リンクアドレス等	実習内容	備考

長岡高専の学生、職員30名が、吉津トンネル及び五十母川橋(磐越自動車道)と白根ポンプ場建設の工事現場を見学しました。

平成27年10月22日(木)に長岡工業高等専門学校環境都市工学科の学生25名と教職員5名が、磐越自動車道の付加車線建設工事である吉津トンネル及び五十母川橋と日本海側最大規模のニューマチックケーソン工法による新潟市白根水道町ポンプ場建設の工事現場を訪れました。

この見学会は、建設界の担い手確保・育成を目的として、トンネル工事等の現場に触れて、建設界の魅力や社会基盤 の役割について知ってもらうものです。

参加者からは、吉津トンネルの現場でインバート施工や坑内を歩きながら完成までの一連の施工過程を見学できて非常に勉強になった。ニューマチックケーソンの実際の現場を見ることができて良かったなどの感想がありました。

この現場見学会を通して建設界や建設工事のスケールの大きさについて、より関心を持っていただけたらうれしく思います。 実施機関:(一社)日本建設業連合会北陸支部



ポンプ場概要説明状況



トンネル坑口の「化粧木」



トンネル坑内の施工状況



トンネル坑口(福島側)で集合写真を撮影



1期線と沿う五十母川橋の橋脚の施工状況



五十母川橋の橋脚の施工状況



ポンプ場構築状況を足場上から見学

ホームページのコンテンツ作成について

掲載されている写真の作業内容等を説明する詳細ページの作成をお願いします。



トップページスライド写真

トップページに表示される写真です。 (5組の写真が1秒間隔で切り替わります) さらに適切と思われる、写真がありましたらご提供をお願いします。

国土の姿を正確に測ります



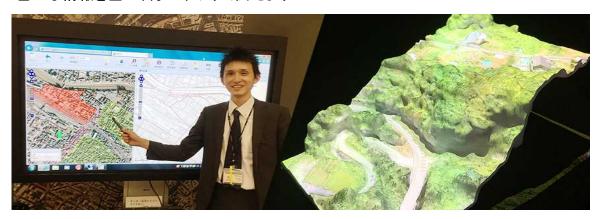
測った姿を地図に表現します



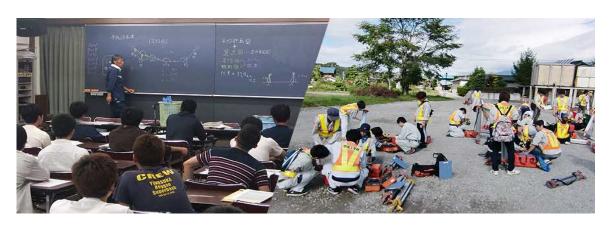
あなたの仕事が様々な分野で役立ちます



色々な情報を基に、分かりやすく伝えます

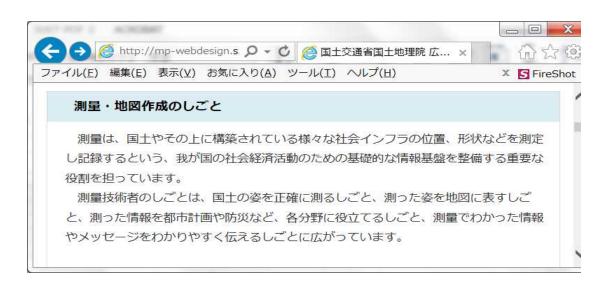


測量技術者になるには



トップページ 仕事の説明写真及び説明文

測量・地図作成の仕事を5分野に分けて紹介しています。 さらに適切と思われる写真や説明文案がありましたらご提供をお願いします。











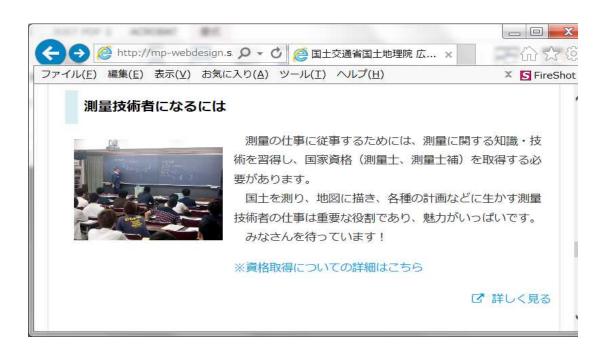
色々な情報を基に、分かりやすく伝えます



コンピュータの地図上に様々な地理情報を重ね合わせて活用するGIS(地理情報システム)が多方面で使われています。これまでの紙地図上では、表現しにくかったことも、コンピュータ上では様々な情報を必要に応じて重ね合わせることが可能であり、これを立体的に表現することも可能です。

土地の適正評価や自然災害へのリスク評価など、価値の 高い分析とそれを分かりやすく説明するためのツールとし て活用されています。

☑ 詳しく見る



リーフレットの更新について

- ◆リーフレットの更新方法について (別紙5のとおり)
 - ・全面改正か一部改正(地図作成関係業務の追加、写真、URLを追記等)
 - ・全面改正の場合のリーフレットの構成
- ◆大判ポスターの作成について
 - ・リーフレットをそのまま拡大しての利用について
 - ・新規作成 (別紙6のとおり(作成料金))
 - ・その他、既存のポスター利用について
- ◆作成部数について
 - ・全体の作成部数は、各構成員団体から配布先及び部数の要望を基に決定 (別紙6のとおり) (様式は別途送付しますので、平成29年4月21日(金)までに事務局へ 回答をお願いする。)
- ◆リーフレットの個別利用について
 - ・リーフレットを一部改変して個別の構成団体での活用について ((一財) 測量専門教育センター)

余白を無くす



舞台は地球!

地球の姿を測り、描き、暮らし、仕事に役立てる測量のしごと。

わたし達と一緒に仕事しませんか? 待ってます!

測量 → 測量・地図作成

(測量・地図作成分 野)に変更

広報推進協議会(測量分野) このリーフレットは「測量の日」実行委員会の協力を得て作成しました。

測量の仕事 → 測量・地図作成の仕事

幅の広がる測量の仕事の世界 - 先輩からの一言 -

測量技術者のしごとは、着目する場所の位置を正確に測る「国土を測る」しごと、測った位置を 地図にする「国土を描く」しごと、防災に役立てる「国土を守る」しごと、測量でわかった知識や メッセージを国民や若い世代に伝える「国土の姿を伝える」しごとに広がっています。 それぞれの仕事に携わる先輩からの一言を紹介します。

国土を測る



増田 侑希子 アジア航測(株)



小林 祐太 朝日航洋(株)

写真を変更する

什事の概要と一言メッセージ

MMS (車載型レーザ計測システム) の計測及び データ処理を担当しています。現在 MMS は 全国自治体の公共測量にも用いられ、防災など 幅広い分野で活用されています。社会の安全を 支える 上で、 責任 感を持って 業務に取り組ん でいます。

国土を守る



和久津 龍太 国際航業(株)

仕事の概要と一言メッセージ

災害発生時

は航空機や UAV (無人航空機)等を 用いて撮影・計測と被災状況を把握します。自然災 害による被害の軽減や防災対策に活用するハザード マップを作成し、安心して暮らせるための「国土を 守る」仕事にやりがいを感じています。

什事の概要と一言メッセージ

航空写真から地図を作る仕事をしています。 測量で作る地図は、ハザードマップやスマート フォンで使う地図データにもなる高精度なもの です。このように幅広く社会に貢献できる 仕事に日々やりがいを感じています。

国土の姿を伝える



森野 雄太 (株) パスコ

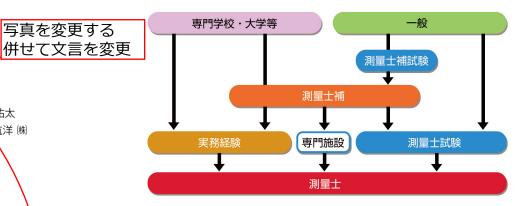
仕事の概要と一言メッセージ

公共向け統合型 GIS の構築から運用保守を担当し、 顧客の要求を満たすシステム作りに日々取り組んで います。測量は現場での実測だけではありません。 測量成果をもとにソフューションを提供する仲間を お待ちしています。

測量のプロになるには

測量の国家資格(測量士・測量士補)は測量法で規定されています。

測量十・測量十補になるには次の図のような方法があります。そのなかでも測量専門学校や認定を受けた 大学を卒業して、測量士補の資格を取得後、実務経験を経て測量士となるケースが大多数となっています。



測量のプロのキャリアパスについて

測量士になった後は、測量に従事して経験を積んでいきます。測量には国や公共機関が行う測量と 民間企業が行う測量があります。技術士や他の資格などを活用し、測量と他の分野とを組み合わせた 高度なサービスを提供す ・では管理職や企業経営者として測量に携わる人も。 います。大学や学、測量・地図作成分野 **隹を指導したり新技術を開発する人もいます。更に、** 公務員として測量に修正 らではのセンスを生かしてインフラ整備その他の行政 分野で活躍するルートもあります。

測量分野の広報推進協議会について(広報推進協議会ホームページURL)

測量の役割や重要性等について、多くの皆様にご理解いただき、関心を持っていただくために 2015 年に発足した 団体です。測量にたずさわる産学官の関係者が一体となって取組の推進を図っています。構成員は以下のとおりです。

(一社)全国測量設計業協会連合会 http://www.zensokuren.or.jp/	〒162-0801	東京都新宿区山吹町 11-1 測量年金会館 8 階	03-3235-7271
(一財)測量専門教育センター http://www.disclo-koeki.org/05b/0	〒305-0001 00813/	茨城県つくば市栗原字山尻 3514-20	029-875-4217
(一社)地図調製技術協会 http://www.chichokyo.jp/	〒113-0001	東京都文京区白山 1-33-18 白山 NT ビル	03-3815-9110
(公社)日本測量協会 http://www.jsurvey.jp/	〒113-0001	東京都文京区白山 1-33-18 白山 NT ビル	03-3815-5751
(公財)日本測量調査技術協会 http://www.sokugikyo.or.jp/	〒169-0075	東京都新宿区高田馬場 4-40-11 看山ビル 9F	03-3362-6840
(一財)日本地図センター http://www.jmc.or.jp/	〒153-8522	東京都目黒区青葉台 4-9-6	03-3485-5411
国土交通省国土地理院 http://www.gsi.go.jp/	〒305-0811	茨城県つくば市北郷1番	029-864-1111

表紙のモデルは左から

白井優衣(三陽技術コンサルタンツ(株)、柄澤孝和(アジア航測(株))、 東野紫(株)パスコ)、山崎裕史(株)八州)、加藤未亜(国際航業株)

広報用動画(ビデオ)の作成について

- ◆測量・地図作成分野の仕事・魅力等を短編的に紹介する動画を作成する。 (効果・必要性等については、別紙7のとおり)
 - ・構成やスケジュールについては第1回会合で検討
 - ・既存の広報用動画の調査結果を基に作成方法を検討
- ◆既存の広報用動画の調査 (別紙8のとおり)
 - ・各構成団体が作成した既存の動画
 - ・他の業界で作製している測量・地図に関する既存の動画(推薦出来るもの)
 - ・リンク可能なものはHPに掲載する。

広報用動画の概要(案)

(背景・目的)

広報手段としてこれまでリーフレットやホームページ作成など、テキストベースのコンテンツ作成を行ってきたが、「最近の若者には、パンフレット等より動画での広報が効果的ではないか。」との意見がある。

測量・地図業界においても既に多くの動画コンテンツが用意されていると思われるが、各事業者の業務内容の紹介など、長編的(30分くらい)なものが多く、業界に興味をもち、動画を見ようとする若者が最初から長編的な動画を見るかといえば、多少敷居が高く、躊躇することが現状であると思われる。

そこで、若者に限らず誰もがたやすく見ることができる3分程度の短編的な測量・地図業界の魅力を伝えられる動画を作成する。

(効果)

短編的な動画を見ることによって、そのことが呼び水となり、敷居の高かった長編動画の視聴にもつながるものと考えられる。

短編動画の作成は、業界全体の広報推進につながるものと思料される。

(構成)

· 時 間:3分程度

・内 容:測量・地図業界の魅力を伝えるストーリーとする。

詳細は、発注業務の中で絵コンテ(企画)を提案頂く予定。)

・出席者:可能な範囲で各構成団体から推薦を頂く。

・公 開:パソコンやスマートフォンで視聴できるようにする。

・配 信:YouTubeの利用を検討

(スケジュール)

第1回会合で検討

(費用)

添付資料参照

広報用動画一覧

タイトル	概 要	再生時間	メディアの種類	所有会社	貴社ホームページで公開している 場合は、そのURL	広報推進協議会 ホームページで の公開の可否	備考

その他の取組

- ◆今後考えられる測量・地図関連事項(2017~)(別紙9のとおり)
- ◆平成29年度協議会開催スケジュール(案)

平成29年 5月 広報推進協議会第1回会合

平成29年 8月 広報推進協議会第2回会合

平成29年11月 広報推進協議会第3回会合

平成30年 2月 広報推進協議会第4回会合

平成29年3月2日 広報推進協議会資料

今後考えられる測量・地図関連事項(2017~)

- 【2017】(平成29・昭和92・大正106・明治150) 年
- ○第50回地図展 昭和42年10月13~18日 第1回地図展開催(東京・小田急百貨店)
- ○地理空間情報活用推進基本法10年 平成19年5月30日公布
- ○長久保赤水(1717~1801) 生誕300年 日本で初めて緯度経度などを入れた日本地図を作製 水戸藩の地理学者
- 【2018】(平成30・昭和93・大正107・明治151)年
- ○明治150年 1868 (慶応4) 年1月1日 (新暦1月25日) を明治元年1月1日 (旧暦) に改元
- ○伊能忠敬没後200年 1818 (文政元) 年4月13日 (太陽暦5月17日) 伊能忠敬 死去 (享年73歳)
- ○第30回測量の日 平成元年6月3日 測量の日制定
- ·日本測量調查技術協会創立40周年 昭和53年9月28日 日本測量調查技術協会設立
- 【2019】(平成31·昭和94·大正108·明治152)年
- ○測量150年 明治2年 民部官に庶務司戸籍地図掛設置
- ○測量法公布70年 昭和24年6月3日公布
- ○測量の日30周年
- •全国測量設計業協会連合会創立60周年 昭和34年2月20日 日本測量連盟設立
- ・国土地理院のつくば移転 40年
- ·第29回国際地図学会議開催
- 【2020】(平成32・昭和95・大正109・明治153) 年
 - 東京オリンピック・パラリンピック
- 【2021】(平成33・昭和96・大正110・明治154) 年
- ○伊能図200年 1821 (文政4) 年 大日本沿海與地全図 (合計225枚) 完成
- ・水路測量150年 明治4年9月8日 兵部省海軍部に水路局設置
- ·日本測量協会創立70周年 昭和26年1月13日 日本測量協会設立
- ・東日本大震災(2011年3月11日) 10年
- 【2022】(平成34・昭和97・大正111・明治155)年
- ○地理空間情報活用推進基本法15年 平成19年5月30日 公布
- ・日本地図センター創立50周年 昭和47年2月23日 日本地図センター設立
- ・鉄道150年 明治5年 新橋・横浜間に鉄道開通
- ・沖縄返還(1972年5月15日) 50年
- 【2023】(平成35・昭和98・大正112・明治156)年
 - · 関東大震災(1923年9月1日) 100年

「国土を測る」意義と役割を考える懇話会について

目的	「 <mark>国土を測る」</mark> 測量について、その意義や役割を明確にし、これを広く国民に 伝える上で、何 <mark>をどのように伝えることが適切</mark> であるか、有識者からの意見を 聴取し、今後の取組に反映させる。						
構成員	 マスコミ関係者、地図・測量成果等のユーザ、学識経験者(測量、土木、地理教育等)、測量に関連のある各分野の専門家(建設、宇宙、防災等)合計10名 測量関係者(測量団体等)については、オブザーバとして参加 						
開催状況	第1回を平成28年3月 第2回を平成28年5月 第3回を平成28年9月 第4回を平成28年12月 に開催 全4回開催し、平成28年度中に報告書を取りまとめ						
その他	 会議は原則として全てオープンなものとし、記者等が会議全体に参加し記録等を行うことを認める(会議資料や議事録等についても、原則公開) 懇話会で出された意見については、国土地理院において取りまとめ、広報推進協議会等における検討に反映 						
主催者	国土地理院						

「国土を測る」意義と役割を考える懇話会について



第1回懇話会 (平成28年3月25日)

● 社会経済活動と「国土を測る」という活動との関係等について議論。

第2回懇話会 (平成28年5月22日)

- 国土地理院の取組や役割について広く国民に紹介するための方策を議論。
- 会合に先立ち、懇話会委員が国土地理院の観測施設や「地図と測量の科学館」をご視察。

第2回懇話会の様子









第3回懇話会 (平成28年9月20日) ● 民間企業等における様々な測量の事例について紹介。

● 懇話会報告書の全体構成等について議論。

第4回懇話会 (平成28年12月9日)

- 懇話会報告書の取りまとめの議論。
- インターンシップの受け入れ状況について紹介。

委員からの 主な意見

- ・「広報」ということを考えるのであれば、ストーリーで語る、文脈で語っていってはどうか。
- ・「伝えたいこと」ではなく「世の中の人が知りたいこと」を伝える観点で広報しないと 関心をもたれない。
- ・広報パーソンをはじめ、スター(その道の専門家)をつくることを進めていただきたい。

想話会 報告書

報告書については現在取りまとめ中

平成28年度第2回広報推進協議会 議事要旨

日時:平成28年11月2日(水)15:30~17:00

場所:国土地理院関東地方測量部 大会議室(8F)

出席者:

(構成員)

全測連 宮﨑事務局長、冨永群馬県測量設計業協会会長

測専協 市川事務局長、土田中央工学校学科長

地調協 稲垣業務執行理事、岩﨑理事・事務局長

日測協 岩田総務部長、飯村測量技術センター管理部長・測地検査部長

測技協 津澤理事・事務局長(斉藤専務理事代理)

JMC 田代常務理事

地理院 鹿野参事官、松村基本図情報更新技術分析官

(オブザーバー)

国土交通省 土地·建設産業局 建設市場整備課 麓企画専門官 (事務局)

山際研究企画官、村岡政策調整官、門脇広報広聴室長、國谷政策調整室長、浅野補佐

議事:

- (1)平成28年度活動方針について 案のとおり了承された。
- (2)今後の具体的取組(案)について
 - ・広報推進協議会のホームページ構築

広報推進協議会HPを国土地理院が立ち上げ、HPの各種コンテンツ掲載に各構成団体が協力することで了承された。なお、HPのコンテンツ構築にあたっては、各構成団体HPとの重複による二度手間となるなどの負担増にならないように、事務局が検討することとなった。

・広報用動画(ビデオ)の作成

SNSを通じた広報展開に適した一般・若者向けの短時間の広報用動画(ビデオ)を作成することについて意見交換が行われた。概ね反対意見は無く、予算・作成方法について事務局が検討を行うこととなった。また、各機関が所有する広報用動画の調査を行うこととなった。

リーフレットの更新

リーフレットの更新について了承された。なお、更新に当たって地図調製についても内容に含めることが了承された。また、大判(A1以上)の作成要望もあった。

- ・また、上記取組等について、その広報効果を評価すべきとの意見があり、評価方法等について 事務局で検討することとなった。
- その他

稲垣委員より構成団体の活動事例として、地方からの修学旅行生の職場体験学習の紹介があった。なお、広報のターゲットを中学生まで広げること、企業での訪問学習等をサポートするNPO学校サポートセンター等に対する広報推進協議会の対応について提案があった。また、事務局から構成団体へ具体的な協力要請を行うこととなった。

(案)

平成29年3月 日

広報推進協議会 構成員 各位

> 広報推進協議会事務局 (国土地理院総務部政策調整室)

広報推進協議会ホームページ開設に係る協力依頼について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。 平素より広報推進協議会の取組につきまして、ご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

さて、広報推進協議会事務局では、平成28年度第2回会合でご提案させていただきました広報推進協議会ホームページの開設に向け、準備を進めているところであります。

つきましては、当ホームページの開設に向け、インターンシップ、イベント等の開催予定情報の提供等、別紙のとおり依頼させていただきますので、ご協力頂きますようよろしくお願い致します。

敬具

1. 目 的

「測量」のイメージアップや測量技術者の担い手の確保・育成の促進を図るため、広報推進協議会ホームページにおいて、測量・地図関連業種における広報活動等の情報を統合的に発信するため。

2. 依頼内容

- ① 平成29年度に予定されているインターンシップ、イベントに関する情報のご提供 開催場所、受入れ時期 〆切、問い合わせ先、実習内容等(別紙1のとおり)
- ② イベント等の実施報告(別紙2のとおり)
- 3. 提出期限

上記① 平成29年 4月21日(金)

② 実施後随時

4. 提出先 : 広報推進協議会事務局(国土地理院総務部政策調整室)

E-mail: gsi-pco@ml.mlit.go.jp (メールへ添付して下さい)

Tel: 029-864-1113

担当者 浅野

5. その他: ・メールへ添付できるデータのサイズは5Mbまでになりますので、それを超える場合は、申し訳ございませんが当院の大容量ファイル転送機能又は郵送等でお願いいたします。

・ご不明な点、ご質問等は上記担当者までお願いします。

平成29年度 インターンシップに関する学生等受入れ情報等について

所	在地	機関・企業 名	大学・高専等の区分	受入可能人物	受け入れ時期	草隼の〆切	問い合わせ先	ホームページへの	実習内容	備考
県名	市町村名		八子 同寺寺の四月	文八号能八数	(期間)	分末のア列	100 · E 17 E 7E	リンクアドレス等	Xuna	NH 75

長岡高専の学生、職員30名が、吉津トンネル及び五十母川橋(磐越自動車道)と白根ポンプ場建設の工事現場を見学しました。

平成27年10月22日(木)に長岡工業高等専門学校環境都市工学科の学生25名と教職員5名が、磐越自動車道の付加車線建設工事である吉津トンネル及び五十母川橋と日本海側最大規模のニューマチックケーソン工法による新潟市白根水道町ポンプ場建設の工事現場を訪れました。

この見学会は、建設界の担い手確保・育成を目的として、トンネル工事等の現場に触れて、建設界の魅力や社会基盤 の役割について知ってもらうものです。

参加者からは、吉津トンネルの現場でインバート施工や坑内を歩きながら完成までの一連の施工過程を見学できて非常に勉強になった。ニューマチックケーソンの実際の現場を見ることができて良かったなどの感想がありました。

この現場見学会を通して建設界や建設工事のスケールの大きさについて、より関心を持っていただけたらうれしく思います。 実施機関:(一社)日本建設業連合会北陸支部



ポンプ場概要説明状況



トンネル坑口の「化粧木」



トンネル坑内の施工状況



トンネル坑口(福島側)で集合写真を撮影



1期線と沿う五十母川橋の橋脚の施工状況



五十母川橋の橋脚の施工状況



ポンプ場構築状況を足場上から見学

(案)

平成29年3月 日

広報推進協議会 構成員 各位

> 広報推進協議会事務局 (国土地理院総務部政策調整室)

広報用動画の調査について(依頼)

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。 平素より広報推進協議会の取組につきまして、ご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

さて、広報推進協議会事務局では、平成28年度第2回会合でご提案させていただきました広報用動画の作成に向け、準備を進めているところであります。

つきましては、作成する広報用動画の内容を検討する資料とさせていただきたく、 構成員各位が所有する広報用動画の調査を別紙のとおり依頼させていただきますの で、ご協力頂きますようよろしくお願い致します。

敬具

1. 目 的

「測量」のイメージアップや測量技術者の担い手の確保・育成の促進を図るため、広報用動画を作成する。

2. 依頼内容

構成員及び会員各位が所有する広報用動画の調査 タイトル、概要、再生時間、メディアの種類等(別紙のとおり)

3. 提出期限

平成29年 3月24日(金)

4. 提出先 : 広報推進協議会事務局(国土地理院総務部政策調整室)

E-mail: gsi-pco@ml.mlit.go.jp (メールへ添付して下さい)

Tel: 029-864-1113

担当者 浅野

5. その他: ・メールへ添付できるデータのサイズは5Mbまでになりますので、それを超

える場合は、申し訳ございませんが当院の大容量ファイル転送機能又は郵

送等でお願いいたします。

・ご不明な点、ご質問等は上記担当者までお願いします。

広報用動画一覧

タイトル	概 要	再生時間	メディアの種類	所有会社	貴社ホームページで公開している 場合は、そのURL	広報推進協議会 ホームページで の公開の可否	備考